

議会だより

〈12月定例会〉

- 議案審議 P 2
- 一般質問(4人が登壇) P 3
- 常任委員会活動報告 P 7
- 議会活動報告 P 9
- 追跡調査 P 11
- ようこそみなべ町へお知らせ P 12

12月定例会

12月定例会は、12月11日から22日の12日間の会期で開催されました。町長から提案された平成27年度一般会計補正予算、条例改正など7議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。請願2件は反対多数で否決しました。一般質問では4人の議員が登壇し、活発な質問をしました。

主な議案審議Q&A

有権者数

Q 選挙権が18歳に下がったことによる有権者の数は。

A 18歳19歳を合わせて250名増加します。

Q このシステム変更により227万円は高過ぎでは。

A 総合システムの一環としての業務委託のためにこの金額になります。

災害備蓄梅干

Q 公費を投入するから第3セクターで製造という方法も可能では。

A 法面部分等は町が補償

A PL法等製造あり、JA紀州にお任せすることにしました。

Q トップセールスをされるのですから、生産者協議会からの原料購入を検討して頂きたい。それが農家を直接支援する理想形では。

A JA紀州、協議会と協議し可能性を検討します。

坂ヶ谷土捨て場

Q 用地等補償については。

A 道路部、沈砂地、防災施設、盛土

Q 隣接農家の利便性から極力現道を利用するルートを検討して頂きたい。

A 概略設計では現道の利用は考えていないが、感覚的に少し利用できるのではと思います。縦断勾配のついた詳細設計で検討していきたい。

Q 埋立地をどう活用しますか。

A 地権者と協議して埋立地の利用について考えていきます。

A ただ、あくまでも個人の土地を埋めさせてもらっているという事です。

地方バス路線補助金

(説明) 龍神バスに対し運行補助金と維持補助金が出ている。後者は国と県が4分の3を負担。ただし乗客が15人(1便あたり3・75人)を下回るともらえなくなる。今般の減便でこの要件から外れ、龍神バスが1083万円受けられなくなった。町の負担割合をかけた292万円の補正となる。

Q 交通弱者の支援は当然だが、当初予算840万円の上

に今回292万円上積みとなると年間1000万円を超える。補助割合も含め検討の余地があるのでは。

A 南部高校龍神分校に通う生徒がおり、その時刻に合わせて運行されている。運行補助金を出さないと維持補助金も出ない仕組み。運行・維持合わせ年間2673万円(1便あたり9100円)を田辺市、みなべ町で出している。龍神バスの本音は廃止だが、走ってもらわないと交通手段の確保が難しい。国・県の補助がもらえなかった分、町で補助する形です。

南部中学校校舎改修

Q 現在別の工事が行われていて、現場が混雑するので、随意契約という形も考えても良いと思うが。

A 工期は1月中旬から3月末まで。今後入札状況審査委員会等色々な所で協議しながら進めてまいります。

●各議員の議案採決結果 (反対のあった議案のみ) ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決には加わりません

議案	井口 雅裕	中井 重雄	下村 勤	森坂 義明	中本 光一	真造 賢二	原田 覚	佐々木香徳	谷本 吉弘	北谷 清治	竹本 栄次	田中 昭彦
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に関する請願書	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	-
後期高齢者医療制度の保険料に関する請願書	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	-

なか もと こう いち
中本光一 議員



文化財保護 みなべ町文化財を世界遺産登録へ

➔ 追加登録に向けてがんばりたい

一般質問は、平成28年12月21日に4人の議員が行ないました。



三鍋王子

質問 世界遺産にチャレンジすることは、文化財保護の面、みなべ町を再認識してもらう面から必要なことだと思います。県及び町指定の文化財、熊野参詣道の中でも唯一の海コースなど追加登録できる条件が揃っていますので、前向きに考えてるべきだと思います。

町長 国の文化財登録ができるか、現状の保存状態がどうかなど難問が有ると思います。精一杯頑張つて取り組んでまいります。

教育長 まず、国の登録の格上げが可能かどうか、その後に世界遺産追加登録が見越せるかどうか情報を集めたかどうか情報を集めたかと思っております。

自然保護

ジオパーク

↓ 参加は必要

質問 ジオパークとは

地球科学的な価値を持つ遺産、大地の遺産の保全を目的としたプログラムであり、その場所そのもののことです。

ジオパークは大地の遺産を保全し、教育やツーリズムに活用しながら地域の持続可能な開発を進める仕組みを構築しようとするものです。

みなべ町は平成27年、南部湾、千里の浜を中心として吉野熊野国立公園に指定されました。それに加えて12月に登録されました世界農業遺産があります。ジオパークに参入する絶好のチャンスですので、よろしくお願いします。



町長 南紀熊野ジオパークへの編入に向けて、研究に取り組んでまいります。事務局内でメリット、デメリットについて研究をし、あわせてウミガメ保護の配慮も含めて、町内外の関係者による仮称みなべ町ジオパーク研究会を発足させ、参入への調査研究を検討する体制づくりに取り掛かってまいります。

教育長 教育委員会としましては、本町がジ

オパーク構想に参入するかどうかについて協力をしていきたい。今後教育活動の一拠点として、みなべ町のいろんなジオサイトの活用を図ってまいりたいと思っております。

教育 みなべ検定

↓ 検定の復活に期待

質問 みなべ町の歴史・文化を研究する人材及びみなべ町の自然・資産を活用して観光誘客を推進する人材の教育と発掘のため、みなべ検定の復活を提案します。

教育長 資格、そして合格者の活用方法を取り決めて、今後の取得者の増を目指していただきたい。教育委員会としては、紀州みなべ検定の復活には期待をもっているところです。

しん ぞう けん じ
真造 賢二 議員



商工 ふるさと納税の進捗は？

➔ 年明けに30商品に拡充

質問 27年4月から梅干に加え、備長炭、魚の干物をふるさと納税の干物に追加して頂き、また期間限定の青梅が大ヒットしました。

町長は地元紙の取材に「町の特産をアピールする手段として今後にも活用していきたい」と述べられています。

また、商工会でも総務課を招いて勉強会を開き、積極活用に向けて検討されているとの情報も。今後の予定等、ふるさと納税への取組方針は？

町長 商工会と協議を進めており、16社から28種の提案を受けています。寄付額1万円以上の場合と、2万円以上の場合の2種類の価格帯を設け、1月からHPに掲載予定です。今後とも町のPR目的に取り組んでいく考えです。また、農業所得増にも貢献できるとも考えています。



再質問

ありがとうございます。町長、総務課、商工会の皆様の対応に感謝申し上げます。商工会員以外への公募の予定は？

また、更なるステップアップとして2つの提案をさせていただきます。一つ目の提案は、ポイント制の導入です。返礼品を金額に捉われずに自由に設定でき、魅力的な展開が可能です。採用自治体は大きな成果を上げています。二つ目の提案は、HPのデータを流用し露出度を増す方法です。従来からの「ふるさとチョイス」に加え、楽天市場のサービスも利用されてはいかがで

も考えています。

すか？既に近隣市町も導入済み、その発信力、露出度は抜群のはず。

楽天市場の活用は、導入町に確認したところ初期費用やランニングコストは不要、サイト使用料、カード手数料は必要で寄付額の1割位とのこと。コストは掛かりますが、広報力は群を抜いており、カード決済等、メリットは大きい。状況を見ながら検討します。

町長 公募は、商工会とのルール作り終了後に改めて検討します。ポイント制は、値段設定が煩雑、同様商品でポイント差発生、コスト発生から現在導入を考えていません。

無料の「ふるさとチョイス」は引き続き活用

農業

梅で健康のまち宣言の具体的取組は

機能性研究・表示推進、HP構成検討

質問 「梅で健康のまち宣言」を5月議会で可決、梅の日に町長に宣言をして頂きました。健康は万人共通の願い、梅は健康のアイコン、梅の魅力が全世界に伝える核心をついたもの。

添付資料に具体施策、HP構成案を提案してあります。宣言に基づいた具体的な取組みをしていって頂きたい。

町長 スポーツは梅のPRとして日体大との連携協定を締結しました。機能性として熱中症効果、疲労回復効果、メタボ予防研究を委託しており、機能性表示活用も進めていきます。また健康のまちを実証する数字もPRしていきますように検討します。

再質問

HP上に「梅で健康のまち」の頁を設け、梅は健康に関する取組、あらゆる情報を集約し体系的に発信していくって頂きたい。例えば梅は健康にまつわる言い伝え、文献やニュースなども訴求力ある情報のはず。

町長 HPの構成について遠慮がちな部分がありました。積極的に発信していく時期にきています。文献や言い伝えも非常に有効な情報。今後は提案内容を参考にHPの構成を十分に検討して参ります。

※その他の質問

- 梅干タル問題への対応
- 地方創生・梅消費拡大策





さ さ き よしのり
佐々木 香徳 議員

教育 図書館司書の確保を

➔ 資格者の正職員公募を検討

質問 町立図書館の司書の確保について。図書館の正職員4人中、司書資格を持つ人が3人。この3人中2人が遠からず定年を迎えます。

教育長 町にお尋ねします。一般に公立図書館司書の専門性をどう認識し、また本町の司書をどう評価しますか。次に町長にお尋ねします。中・長期的に司書を確保する必要性とその方法をどうお考えですか。正職員を配置すべきだと考えます。佐賀県武雄市などが指定管理で民間に任せ、良くも悪くも注目を集めています。みなべ町では可能性ゼロでしょうか。

教育長 司書の仕事は本と人をつなぐこと。利用者が何を知りたいかを知り、自館に何があるかを知って結びつける。資料の選書も大



おはなし会で絵本の読み聞かせ

事な仕事で経験も必要です。今の司書は子どもたちに良い本を届け

たいと保育所や学校でも活動しており高く評価します。

町長 司書3人は県内で和歌山市に次ぐ数。定年退職も想定されるので正職員採用も検討中です。ただ「全員を正職員」は難しい。指定管理の場合も司書確保など文科省が示す基準に合致しなければなりません。直営か指定管

理か検討する時期です。

再質問 正職員は新規採用か臨時職員の昇格かわかりませんが、レベルが落ちないようお願いします。いま直営でうまくいっているのに、指定管理はゼロと言っ

てほしい。

教育長 教育機関の人事は教委の権限でもあり、司書の正職員を採用していただけるよう

町長にお願いします。

町長 定年の穴埋めは正職員。「司書資格ある方」の条件です。司書に限り年齢制限なしとするかも含め、一般公募方法を検討する必要があります。指定管理で失敗し直営に戻った所があるが、どの部分が適さないのか勉強したい。ゼロではありません。

農業 梅干し外税化その後

る会社か法人を設立し、農家を守ることを求めます。

現状です。「必ず外税に」と国が言っていないのが問題です。樽の法人設立まで考えは及んでいません。

質問 農家が梅干しを

農家が樽を買う場合は

町長 組合に加入して

再質問 「04年から内

売際の消費税を外税化する課題について。

10%とられます。消費税10%で買った空樽に

行えておりません。政

府が2004年から内

「業者には面談をして

中身を入れて売ったら

税表示に切り替え、そ

れによって内税に変わ

お願いです」となって

農家は2%分損するとい

う不公平が予想され

ています。消費者に

おりました。何社と面

談できて、消費税を別

代をデポジット制に

法的にクリアすること

建てて払うと答えた業

者は何社ありましたか。

軽減税率で梅干しが

起きないので賛成です。空樽の出入りを管理す

はら だ さとる
原田 覚 議員



選挙 小谷町長の次期町長選への出馬は

➔ いずれ時期が参れば報告

質問 平成28年は町長選挙がございませう。

小谷町長は、現在2期目の8年目でございますが、日高郡町村会の会長、県の町村会副会長をされ、みなべ町だけでなく、また土曜・日曜も関係なく多忙に走り回っていることにつきましては敬意を表します。

平成27年は、南高梅50周年、また先日イタリアでありました、みなべ・田辺梅システムの世界農業遺産の承認など色々ございました。合併してからの長期総合計画に基づき、色々な施策や事業に小谷町長は取り組んでこられたと思っております。南海トラフ大地震の津波対策などの防災対策、現在冷え込んでいる梅産業の問題、その他にも課題が残っています。が、町民の声に耳を傾け、まだまだそれに取

り組まなければならぬと思っております。

そこで、小谷町長のこれまで取り組んできた事、また今後の取り組むべき課題などをお聞かせいただき、次期町長選、3期目に向けての小谷町長の現在のお考えをお聞かせ下さい。

町長 まず、これまでの取り組みについては、広報紙や地方紙に掲載していただいておりますので皆様ご承知かと思っておりますので省略させていただきます。

合併時の新まちづくり計画については、国道・県道の一部で出ていないところがございまして、現在あらゆる部分で達成されていると実感しております。今後の課題としては、地域防災計画に沿ったまちづくり、町民の皆様が安心して暮らせるような形での執

行に取りかからなくてはいけないと思っております。

教育施設につきましては、教室のエアコンの件を教育委員会ですべてもっております。児童保育の件については子ども・子育て計画の中で進めていかなければならない部分であると思っております。

健康や福祉面では、みなべ町は健康寿命が国平均よりも長く、健康な町と言っております。が安心して老後を暮らせる施策が必要になるかと思っております。

少子化対策も地方創生のアンケートの中で子育てに充実した町であるという意見もございまして、今後とも安心して子育てのできる町としての施策も必要になります。また、高齢者の方々に安心して暮らせるような町にしていかなければなら

ないことが、今後の課題と思っております。

それより、まず経済的に安心できるような施策、産業面の充実・振興に努めなければなりません。世界農業遺産の認定をいただき、それを前面に売り出していけるよう皆様と相談し進めてまいりたい。経済的に安心できることが福祉や教育につながっていくと思っております。そこで残されました10

カ月余りの任期を精一杯頑張つてまいりたいと考えています。

3期目に向けての考えですが、まずは新年度予算編成、第二期長期総合計画の策定など、当面やらなければいけない部分がございます。あらかじめの見通しがついた段階で、いずれ時期が参りましたら、ご報告を申し上げます。と思います。



産業建設常任委員会 活動報告

平成27年11月17日に北山村を視察しました。
11月27日にうめ課と事業内容について協議しました。

北山村視察

温泉施設

鶴の湯温泉にはボーラーが2基あり、そのうちの露天風呂用ボーラーを薪ボーラーに改修する予定です。そこで薪ボーラー施設を導入している北山村の温泉施設を視察してきました。

この施設には1基約200万円の薪ボーラーが3基あり、1日で薪を2㎡使用します。1㎡当たりの薪の金額は5000円だそうです。



また、施設内には4㎡の大きなタンクが3基あり、1基は給湯槽、2基は温めて貯めておく貯湯槽です。

薪の使用は、この薪ボーラー専用となり用途に限られるので、チップにするなど少し加工する方が売るのは



良いのではないかと説明していただきました。

しかし、薪の焼却灰は、1週間でバケツ1杯分と大変少ないうえ、わが町の森林保全の關係で町有林の間伐もしていかなければいけないことから、今回の視察で学んだ点を活かし、委員会では導入する方向で確認しました。

じゃばら園

特産物であるじゃばらは、昭和57年から北山村の3地区で植え付けをはじめ、農園地の入り口には一般車両が入れないように柵がさ



れ、嚴重に管理されていると感じました。商品の売り上げが伸びない時代は、生産調整を行なっていたそうです。交通の便の悪い村なのでPRや販売に限界がありました。インターネット販売に乗り出して、直接販売ができ全国へのPRにつながりました。また、じゃばらは花粉症の症状改善に効果があると発表したこと売り上げの後押しとなっているとのことです。

うめ課との協議

11月27日に町長、うめ課長とうめ課事業について協議しました。

梅の消費拡大

宣伝の見直し、全国梅サミットの意義を広報、白干し梅のPR用パンフ作成、梅酒コレクションは町内の梅酒だけで実施などの検討。

備蓄梅干

東京23区すべてに営業。

機能性研究

各大学の研究情報を発信し、極力早く商品に機能性が書けるように。

梅で健康のまち宣言

町全体で盛り上げていくこと。日体大の協力で健康のPRを。

世界農業遺産

認定された8地区で共同のPR検討。

また、梅タルやケシキスイ対策等の梅干農家の課題などについても話し合いました。

総務文教常任委員会 活動報告

平成27年11月16日、みなべ町気佐藤、ミナベ化工(株)様新事務所と御坊市菌、御坊市津波避難タワーの視察を行いました。

ミナベ化工(株) 新事務所

みなべ町では、ここ30年の間に60%の確率で発生するといわれる南海トラフ巨大地震に伴い最大14・8mの大津波が来るのではと言われています。

町ではその対策として広報誌などでの啓蒙、防災(避難)訓練の実施、また海拔表示板や高台への避難路、階段の設置、さらには避難タワーの建設計画を進めています。

ミナベ化工(株)は平成27年10月に事務所の新建て替えが行われ、



ミナベ化工(株)備蓄室

新事務所の上層部(3・4階)を地域住民の避難所として一時使用させていただきます。ことになりました。

4階には非常食450食分、飲料水、簡易トイレ、発電機、衛星電話が備えられています。また基礎部には支持層30mまでの支柱15本を使用し耐震強化されているとのことでした。

これにより、新庄地区の避難困難地域が解消されることになり、す。周辺地域住民にとっても、避難場所として活用できる防災拠点となりました。

概要

- 受入可能人数は、防災協定締結後に確定(避難可能約350人、社員約130人)
- 鉄骨4階建て
- 高さ17・25m

御坊市津波避難タワー

避難タワーでは県下最大級といわれている大きなタワーでした。

市内は海拔が低く、これと言った高台も少なく山までは相当の距離があるため、今後、

当タワー以外にあと2箇所に建設計画を立てているとの事でした。

2階3階のステージに上がるには、階段(幅



1・5m、ステップ高16cm、ステップ幅26cm、手すりの高さ110cm)とスロープ(入口2箇所、幅1・5m、傾斜角度1/12、手すりの高さ120cm)、階段に4箇所の照明が設けられていました。基礎部は16メートルの支柱を32本使用しているとの事でした。

概要

- 場所 御坊市菌980-1
- 海拔 5・4m
- 収容人数 800人
- ステージ高 2階…8m
- 3階…11m
- ステージ面積 2階…200㎡
- 3階…200㎡
- 合計…400㎡

みなべ町でも避難タワーを計画中です。避難タワーは一次的な避難場所であって、道路整備等を十分に行ったうえで、避難困難者や逃げ遅れた人たちのための位置づけであってほしいと思います。



避難タワー3階

議会活動報告

議員研修会、式典に出席しました。

南高梅誕生50周年記念式典

梅のトップブランド「南高梅」は、今から50年前（1965年）10月29日に和歌山県みなべ町で生まれました。（種苗登録されました）

南高梅生誕50周年を記念して10月29日保健福祉センターに於いて式典が催されました。

～南高梅誕生の軌跡～

内本梅	明治 15 年頃	内本徳松氏、良種発見
内中梅	明治 20 年頃	内本幸二郎氏、内中為七氏が内本梅を栽植
高田梅	明治 35 年	高田貞楠氏、内中梅から優良種 1 本を発見
	昭和 6 年	小山貞一氏、高田梅の接ぎ木苗の育成に尽力
	昭和 25 年	「梅優良母樹調査選定委員会」を設立し、優良品種 6 種を選抜
	昭和 38 年	竹中勝太郎氏、南部高校の愛称に因んで「南高」と命名したい旨を高田貞楠氏に承諾を得て、（申請者：竹中勝太郎 名称：南高）で出願
南 高	昭和 40 年 平成 27 年	「南高」が種苗名称登録第 184 号で登録される 10 月 29 日南高梅誕生 50 周年を迎える



お揃いの梅染めネクタイで

平成27年6月6日には「梅で健康のまち」宣言も行いました。

南高梅は、みなべ町の基幹産業であり保全・発展させていかなければならない産業です。

私たち町民一人一人も、自ら梅を食し「梅健康」を立証しつつ、積極的に健康づくりを実践し、幸せで明るい活力あるみなべ町を築いていきましょう。

広報研修「1文は30字が目安」

広報特別委員会の6人が広報研修会を受講しました。（平成27年10月20～21日 東京）

実際の誌面から、良い例・悪い例をあげて解説されました。

3人の講師から遠慮のない指摘の数々に耳が痛くなる思いでした。

特に「1文30字」はドイツの神経生理学者の研究によるものです。うーん、果たしてどこまで実行できるか…。とにかく、このコーナーだけは指摘通り作ってみました。みなさま、違いがわかります？

★☆ こんなことを学びました ★☆

- ◎広報とは一方的な発信ではなく住民との関係づくり
- ◎議会だよりにしかない情報を
- ◎伝え方しだいで読む気が起こる
- ◎見やすい文書は、漢字を少なく、図表・余白を多く
- ◎1文は30字が目安。段落に分け見出しをつける
- ◎インパクトのある表紙、住民の登場
- ◎難しい言葉には解説や読みがなを
- ◎文章表現を統一
- ◎写真には写真説明を



全国からの議員千人にみなべの梅干をプレゼント

和歌山県町村会100周年式典

和歌山県町村会100周年記念式典が平成

27年11月6日、有田川町で開かれ、議員12人が出席しました。シンポジウムとパネルディスカッションがありました。

またみなべ町建設課の越本進男さんから15人が町村会長特別表彰されました。

旧日置川町で体験交流型の教育旅行や「民泊」に取り組む一般財団法人南紀州交流公社の理事長が「体験交流



は地域創生の切り札」のテーマで10年間の歩みを発表しました。

また九度山町長の講演には感銘しました。10年前の町長就任時、観光客を年間100万人誘客すると宣言し、実現に向けあらゆる施策を実行してきたこと。目玉は真田幸村！生地である長野県上田市始め、ゆかりのある地域と連携して大河ドラマを誘致しようとする署名を66万6666人（六文銭にちなんで）集め、NHKに7回嘆願した結果、今年1月からの放映に漕ぎ着けたとのこと。

並行して幸村にちなんだ観光地として周遊コース整備、鉄砲隊結成、真田ソバの開発など、職員、町民が丸となった結果、観光客数も20

万、60万人と順調に伸びてきており、大河放映後には：その真田ソバは幸村が400年前に食べたであろうソバを復元しようとして、上田市に教えを乞い、修業を経てソバ処（公社）を設立。今では年間3万人のお客さんがそのソバを堪能されているとのこと。シンプルな目標（夢）を提示し、実現に向けて町が一丸となっている様子が見られるように感じられました。



最後の「まちが元気に、住民が誇りを持っていくこと」との言葉も強く印象に残りました。

その他の議会活動報告

10月27日

日高郡町議会全議員研修会・交流会

於）紀州路みなべ

野村稔氏（元全国道庁野村稔氏（元全国道庁）の『地方自治における町議会議員の役割』と題した講演の後、昼食交流会を行いました。

10月30日

地方創生活協議

総務課から外部検討委員会の検討を経て作成された最終案「みなべ町人口ビジョン 骨子案」 「みなべ町「まちづくりに関するアンケート」調査 報告書」 「みなべ町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」について説明があり、質疑を行いました。

これらは町のホームページからご覧になれます。

11月18日

田辺市及び周辺町議会議員研修会

於）シテイプラザホテル

黒崎誠氏（帝京大学経済学部地域経済学科教授）の『地域創生をいかに成功させるか』と題した講演の後、交流会を行いました。

11月25日

正副委員長研修会

於）和歌山県自治会館

5名の正副委員長が出席しました。鈴木毅氏（元全国道庁府県議会議長）の『調査部副部長』の『委員会の運営等について』と題した講演がありました。



事務組會議員活動報告

●田辺市周辺衛生施設組合議会 第2回定例会

- ・日時 平成27年11月5日
- ・出席者 下村議員、原田議員、中本議員

●日高広域消防事務組會議 第3回定例会

- ・日時 平成27年12月2日
- ・出席者 谷本議員

●御坊日高老人福祉施設事務組會議 第4回定例会

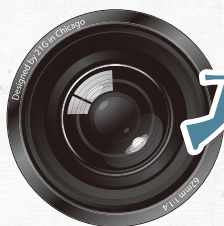
- ・日時 平成27年12月3日
- ・出席者 森坂議員

●公立紀南病院組合議会 第4回臨時会

- ・日時 平成27年10月23日
- ・出席者 田中議長、竹本副議長

●紀南環境広域施設組合議会 第3回定例会

- ・日時 平成27年11月24日
- ・出席者 田中議長、竹本副議長



追跡調査

議員の質問とその後の行方

あなとき、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

平成23年12月定例会 一般質問

若者が働く場所として
積極的な企業誘致を

町長答弁

常に情報を収集し、県と一緒に
なって努力していきます。

どうなった

総務課

企業誘致については、県や他の機関と
情報共有しながら取り組んでいます。

何件かのお話がありましたが、現実的
に広い意味での誘致に結びついたのは
和歌山市の漬物業者である河鶴さん、ミ
ナベ加工さんのみなべ町への業務集約
などです。

今後とも地方創生の施策の下、積極的
な誘致を目指して行きます。

平成23年9月定例会 一般質問

「あいさつ」をしよう運動
日本一の南高梅産地として
老若男女努力しての
「まちづくり」を

町長答弁

人間としての基本であり、全
く同感です。

どうなった

教育委員会

現在、住民の方々が中心となり、あいさつ
運動に取り組んで下さっている地域もあり、
子どもたちから元気なあいさつをしてくれ
ると、喜ばれている学校も出てきています。

教育委員会では、今後もあいさつ運動に
対する取り組みを推進し、自ら積極的にあ
いさつができる子どもの育成、環境づくりに
取り組んで参ります。

☆お☆知☆ら☆せ☆

●日高郡町議会 ゲート大会

11月4日に日高川町美山ドームで行われた第18回日高郡町議会親善ゲートボール大会に議員11名2チームで参加しました。結果は両チーム合計3勝1敗で惜しくも準優勝でした。



●町民スポーツ大会 ゲートボール種目

11月15日に上南部小学校で行われた第10回みなべ町民スポーツ大会ゲートボール種目に議員10名2チームで参加しました。結果は全敗でした。

優勝：熊岡Bチーム
準優勝：梅里チーム

●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでもかまいません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.43
平成28年2月1日発行
発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335

ようこそみなべ町へ

他市町から嫁いで来られたお嫁さんの紹介コーナーです



ひがし かえ
東 香衣さん

まさみつ
& 正満さんご夫妻

みなべ町へ嫁いで来たお嫁さん、今回は大阪府岸和田市出身で平成21年9月13日に、東正満さん（東本庄）と結婚されました東香衣さん（旧姓：渋谷）の紹介です。

Q どんなきっかけで、正満さんと知り合いましたか？

→社内旅行で

Q みなべ町に嫁いできて感じたことは？

→初めて来たときに町全体が梅の香りに包まれていて、どの山も梅畑になっているのにびっくりして感動しました。梅の花がととてもきれいでいい香りで咲くのが毎年楽しみです。

Q 町での生活はどうか？

（楽しい結婚生活のエピソードもあったらお聞かせください。）

→初めて梅拾いを手伝ったとき、初めて見る虫にたくさん出会い、頭上からヘビが落ちてきたことは忘れません（笑）

Q 町に望むことはありますか？

→子供の教育、スポーツの発展・向上を望みます。

◎東香衣さん、ご協力ありがとうございました。

編集後記

昨年は、南高梅誕生50周年、そして、わかやま国体や「みなべ・田辺の梅システム」世界農業遺産の認定など、皆様が一つになってみなべ町を全国に発信することができた輝かしい一年でありました。今年はそれを引き継いで活かし、新たな一歩を踏み出す重要な一年であります。世界農業遺産の認定を前面に出し、世界に梅を発信していくと共に、各産業が充実していくよう、取り組んでいかなければなりません。

秋には町長選挙・議員選挙がございます。私たち議員は残された任期を精一杯みなさんと共に町の充実のために努めていく所存でございます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

広報特別委員会
委員長 原田 覚